

ぬまた 市議会だより

第74号

6月定例会

令和6年
8月1日

内容 6月定例会
一般質問ほか



沼田市議会HP



表紙素材大募集!

こんにちは、議会だより編集委員会です。このたび皆さんに、この議会だよりもっと興味を持っていただけたらと、表紙で使う写真・イラスト・グラフィックデザインなどを一般公募させていただくこととなりました。ぜひとも、皆さんの自慢の一枚をご応募ください。

募集の要項について

【応募できる人】沼田市内に在住、通勤・通学する人、もしくはその方を含む団体

【応募作品】沼田市内で撮られたもの、もしくは沼田市に関連するもの

【募集期間】令和6年8月15日から令和7年3月31日まで

【応募方法】次のQRコードから、市のホームページに記載の「沼田市議会だより表紙一般公募要項」をご一読の上、電子メールにて作品を提出してください。



6月 定例会

6月定例会は、6月4日に開会し、14日までの11日間、専決処分報告、条例改正、令和6年度補正予算など計19件と、議会からの請願1件を審議しました。

また、11人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

請願審査の結果

国に対し「適格請求書保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書」を送付することを求める請願書について、全委員出席のもと常任委員会を開催し、慎重な審査を行いました。審査の結果、採択2名、不採択2名の可否同数となったことから、委員長採決により「不採択とすべきもの」と決しました。

これを受け、本会議における審議の過程において、複数の議員により討論が行われ、下表のとおり請願に対して、賛成・反対の意見が表明されました。採決を行った結果、賛成少数により本請願については「不採択すべきもの」と決しました。

請願に賛成

（一部抜粋）

それまで免税業者とされて消費税納入の必要がなかった広範な人々が、新たな税負担と煩雑な事務をこなさなくてはならなくなりました。新たに納税者となる事業者は、一カ月分の給料を消費税として納税しなくてはならなくなり、大きな負担となります。

請願に反対

（一部抜粋）

取引をする事業者間において、税額の認識を一致させ、公平に納税するためには大きな利点を有すると考えます。国においては、社会の混乱を解消するために、国税庁をはじめ、関係団体が周知の手を尽くし、今日を迎え、運用がされていると考えます。

渋滞により発生するCO₂について

小野塚 正樹



◎沼田市を違った場所・時間で見渡すと渋滞により発生するCO₂の多さに驚きます。国土交通省や環境省の資料によれば、車が時速40Kmで発生させるCO₂を1とすれば、時速20Kmに低下すると発生するCO₂は1・45倍になると言われています。そこで、市内の渋滞により発生しているCO₂の認識について伺います。

へ移行して景観計画を策定していくのかを伺います。

▲県との協議には、景観形成施策の基本方針、景観行政事務を処理するための組織体制案、景観計画の策定、景観行政事務の実施に係るスケジュール等について示す必要があります。

景観行政団体の移行につきましては、地域住民の意向を踏まえながら、適切なタイミングで県と協議し、総合的に判断してまいりたいと考えています。

【その他質問】沼田市にヒトを呼び込む取組・シェアサイクルの導入を検討・スマートウエルネスの推進・狂犬病予防接種の実施率の向上への取組・地域ねこの現状と課題について

▲本市における渋滞により発生するCO₂排出量につきましては把握していませんが、本市全域のCO₂排出量のうち、運輸部門が約35パーセントを占めているとの結果が出ています。このような中、様々な要因で発生する渋滞は、アイドリング運転時間が長くなることから、環境負荷の軽減に配慮したエコドライブの妨げとなり、CO₂排出量が増加するものと認識しています。

◎今後、沼田市が景観行政団体



岩本町交差点の朝の渋滞

市政を問う!!

人口激減社会に対応できるまちづくり

桑原 敏彦



【二地域居住による人流の創出】

【二地域居住等の促進に向けた地域活性化の必要性について伺います。】

【沼田市交流居住促進協議会を中心に移住促進対策を行っています。参加・協力していただける企業や団体が増えることで新たなつながりが生まれ、本市の活性化につながると考えています。】

【沼田市に継続的に人を呼び込むため特定居住促進計画の作成について伺います。】

【田舎体験ツアーなどにより、本市へのつながりを構築していただけるよう努めています。また、特定居住促進計画の作成については国や県の動向を注視したいと考えています。】

【二地域居住を推進し、強化するため二地域居住等支援法人の結成について伺います。】

【沼田市交流居住促進協議会の充実・強化に努めるとともに、二地域居住等支援法人について

は研究したいと考えています。】

【若者の雇用創出に向けて】

【廃校プールを活用したアクアボックスなど新たな農業による雇用創出について伺います。】

【アクアボックスは天候の影響を受けにくいなどのメリットがあると認識しています。廃校施設等の産業用の利活用については研究したいと考えています。】

【二拠点教育による入職促進に向けた体験・実践ができるまちづくりについて伺います。】

【様々な分野における人材不足は深刻な問題です。学びの場を提供し、本市独自の職業教育を実践することも圏域外の若い世代を呼び込む一つの方法となるので、関係機関と情報共有しながら研究したいと考えています。】



廃校を利用したアクアボックスの実証

本市の農業と子育て支援障害福祉について

茂木 清七



【粗飼料高騰により収入が減少している酪農家への支援について伺います。】

【配合飼料安定基金の加入を推進し、価格高騰や円安等への対応施策拡充について、関係機関と連携を図り、国や県へ要望していきたいと考えています。】

【昨年度、凍霜害で収入保険への加入推進を図ってきましたがその後の状況について伺います。】

【本市では、本年度「沼田市農業経営収入保険制度加入促進事業補助金」を創設し、年額5万円を上限に3年間の継続助成を行い、収入保険への加入促進に努めています。】

【特別支援学校の状況と今後の子どもたちの指導方法について伺います。】

【特別支援学校に在籍する生徒は、少子化が進む一方で5年前と比較すると、2倍近くまで増加しています。指導には、個々の多様性を尊重して個別の計画を作成し、適切な指導及び支援を

行っています。】

【小児科医の診療状況と今後の対応について伺います。】

【小児科医の診療状況は、小児二次医療として利根中央病院が北毛地区の対応をしています。小児科の医療体制確保は重要なので国、県及び関係機関に要望しています。】

【発掘調査の状況と今後の企業誘致の計画について伺います。】

【6年度で発掘は終了、7年度から2年間での造成工事を予定し、誘致活動は同時進行でトップセールスを行っていききたいと考えています。】

【障害のある方の医療費負担について伺います。】

【認定を受けている方に対し、医療費の助成制度として医療費自己負担分の給付を行っています。】



一般質問

市民の生活の充実にむけた取組について

鈴木 誠



Q市民活動推進にむけたより身近な拠点整備について伺います。

A誰もが生き生きと楽しく、安心安全に暮らせる地域づくりを目指すために、地域の中で顔が見える関係づくりが重要であり、それを育むための活動の拠点は必要であると考えています。

拠点整備につきましては、地域づくりの話し合いや活動の場、交流する拠点として、各地区コミュニティセンターをはじめ、各町の集会所、公民館などを有効活用していきたいと考えています。

Q公共施設利用の利便性向上について伺います。

A各施設の行政目的により担当部署は異なっていますが、いずれの施設も、利用される方の利便性を念頭に置きながら管理運営に努めているところです。

Q公共施設予約システム構築について伺います。

A施設ごとに異なっている予約ルールを統一することが重要

であると考えています。

予約ルールの統一化や、システム構築を含めた今後の対応について研究していきたいと考えています。

Q複数の部局をまたぐ横断的な諸課題について現在どのような解決方法がとられているかについて伺います。

A複数の部局が関連する課題の取組に当たりましては、部署の新設や、主となる部署が担当となり必要に応じて関係する部署と協力するなど、解決すべき課題の内容や継続性、その時の組織や人員配置の状況により、最適な方法を検討しながら対応しています。



外国人、ワクチン、米飯給食について

齋藤 智



【外国人について】

Q外国人と市民との生活について伺います。

A我が国の人口が2004年をピークに減少が続く一方、在留外国人は現在も増加し続けており、本市におきましても、同様の傾向が続いております。こうした状況を踏まえ、生活に必要な情報提供などにより、在住外国人への支援に努めるとともに相互理解を深め、多文化共生社会の実現と、市民がこころ豊かに暮らし、幸せを実感できるまちづくりを推進していきたいと考えています。

【新型コロナワクチンについて】

Q新型コロナワクチン接種後の副反応の市民への周知について伺います。

Aワクチン接種時に配付したチラシや市ホームページにおいて、周知を図っています。

Q予防接種健康被害救済制度の市民への周知について伺います。

Aワクチン接種時に配付したチ

ラシや市ホームページにおいて、周知を図っています。

【米飯給食について】

Q米飯給食の回数の増加について教育長に伺います。

A現在、週3回の米飯給食を実施しており、利根沼田産のコシヒカリを玄米で購入し、原則、前日に精米を行い、月曜日・水曜日・金曜日につきたてのお米を炊飯して、炊きたての温かいご飯を児童・生徒の元へ届けています。米飯給食の回数の増加については、児童・生徒の栄養や経費、食育等の観点から、今後、検討していきたいと考えています。



市政を問う!!

沼田の未来を次世代につなぐために

星野 妙子



【Q】令和6年度市政懇談会で、市民の皆さま・区長から寄せられたご意見や課題に対する市長の受け止めと市政への反映について、懇談会でご意見があった樹木・倒木対応、利根地域デイサービス廃止、浄水場更新計画に係る水道料金について伺います。

【A】地域の皆さまと直接意見交換でき、地域が抱える課題に理解を深める貴重な機会です。ご意見は真摯に受け止め、可能な限り市政に反映していきたいと考えています。樹木・倒木対応は、緊急時を除き所有者に適切な維持管理をお願いしていますが、地域が直面する共通課題として、検討する必要があると認識しています。利根地域デイサービスの廃止経過は、施設老朽化と利用者減少が理由で令和5年1月に事業が終了しました。水道料金改定は、避けて通れないと認識しています。有識者による「沼田市水道料金あり方検討委員会」からの答申を踏まえ、必要な

料金改定を行っていききたいと考えています。

【Q】さらなる子育て支援として、0歳から2歳の保育料無償化について伺います。

【A】本市は、国の基準額より保育料が低く、第3子以降の完全無償化など、負担軽減に努めています。0歳から2歳の保育料無償化は財政負担が多額なため調査研究を行いたいと考えています。

【Q】現在、休止状態にある「小児科休日・夜間の診療再開」について伺います。

【A】利根沼田広域市町村圏振興整備組合が沼田利根医師会に委託実施しています。現在は、休日に午前10時から午後1時までの診療時間に対応しています。



利根沼田ごみ処理広域化基本構想

高柳 勝巳



【Q】利根沼田広域市町村圏振興整備組合が進めている施設建設について、3つの既存処理施設から候補地を選定することとしたことの理由について伺います。

【A】基本構想では、既存のごみ処理施設の老朽化状況を踏まえ、早期に広域ごみ処理施設建設を目指すとして、利根沼田に現存する3カ所のごみ処理施設用地を候補地として、1カ所を選定することと理解しています。

【Q】施設建設について基本的な説明資料によって関係地域での住民説明会が開催されたと聞いていますが、どの地域で開催されたのかのような質問や意見が出されたのかを含めて、改めてその詳細について伺います。その上で、施設周辺住民への不安の解消策の検討について伺います。

【A】令和5年10月から12月にわたり、薄根地区コミュニティセンターで3回、テラス沼田で1回、説明会を開催し、質問や意見は「新施設の施設内容および付随

施設について」や「周辺道路の安全対策」、「道路整備について」などでした。

今後は、施設整備基本計画の素案が策定された段階で、改めて説明会や意見交換などが開催されますので、広域化施設整備協議会と連携し、皆さまの不安解消に努めていく考えです。

【Q】搬入路に対する基本的な考え方と確保策について伺います。

【A】利根沼田のごみ処理施設を集約することにより、施設周辺の交通量の増加が想定されますので、安全対策に万全を期し、事業の推進を図る必要があると考えています。また、搬入路の確保策では、現在の道路を基本に進めていきたいと考えています。



現在の清掃工場

一般質問

水道料金の改定、生活保護、学校の統合

大東 宣之



【Q】水道事業の経営状況と今後の財政推計はどのように検討されているのか伺います。

【A】昨年度、浄水場更新計画を反映した「沼田市水道事業経営戦略」を改定し、令和6年度から令和15年度までの10年間について、将来人口の予測や新浄水場建設をはじめとする施設整備費用、それらを支えるための適切な料金水準を見定めた「投資・財政計画」を策定しました。

【Q】水道料金改定についてどのように周知するのか伺います。

【A】水道料金あり方検討委員会における協議内容を市ホームページで周知し、新料金が決定した後、広報ぬまたや市ホームページ、全戸配布のチラシにより周知していく予定です。

【Q】生活保護制度の周知をどのようにすすめるのか伺います。

【A】年1回、広報ぬまたにより周知を行っています。今年4月から市ホームページに専用ページを開設し、より多くの方へ情

報が届くよう改善を図りました。

【Q】学校の統合についてどのような検討や取組がされているのか教育長に伺います。

【A】今年1月から2月にかけて、アンケート結果を基に、各学校に設置されている学校運営協議会や学校評議員会で意見を聞くなど、学校再編に係る意向や考え方の把握に努め、今年度については、「沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会条例」に基づく審議会を設置し、第1回目の審議会を5月に開催するなど、今後の本市の小学校・中学校の在り方について、調査・審議を行っています。



沼田市浄水場

人口減少問題への取組、就学援助の拡充

井上 弘



【Q】今、沼田市に住んでいる市民を大切にし、更に転入してきたくなる仕組を早急につくる必要があります。社会増に向けた取組として実施している施策と効果の検証はどのように行っているのか伺います。

【A】第2期 沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、移住・定住に係る取組や企業誘致などの各種施策を推進しています。毎年度、実績について分析・評価を行い、議会の皆さまに報告するとともに、パブリックコメントを実施し、情報の開示と意見の募集を行っています。

【Q】長期に持続的な雇用がなければ、U・I・ターンなどの転入者が増えても一時的なものに過ぎず、人口減少に歯止めがかかったとは言えません。企業誘致の状況と沼田横塚産業団地以外の働く場所の確保の状況はどうなっているのか伺います。

【A】令和9年度に沼田横塚産業団地を分譲するため、誘致活動に

努めています。既存企業に対しても、市内の土地取得、工場等新増設、本社機能移転などの支援に努め、創業支援、地方拠点・サテライトオフィスの誘致など総合的に働く場の確保を推進していきたいと考えています。

【Q】市では就学援助として国が認めている補助対象品目全てに対して援助がされているわけではありません。要保護・準要保護家庭への就学援助を拡充することについて、どのようにお考えか教育長に伺います。

【A】就学援助の拡充については、随時、対象となる区分や扶助単価の見直しを図っており、今後も、他の自治体の状況等を勘案し、引き続き研究していきたいと考えています。



市政を問う!!

公有財産、交流事業、コロナワクチン接種

今成 敦子



【Q】中央公民館跡地の有効な活用について伺います。

【A】中心市街地土地地区画整理事業対象区域と一体的な利用とする方針を維持しつつ、昨年8月21日から本年3月22日まで、トリアル・サウンディングを実施しましたが、会議開催における駐車場としての使用申請が1件のみであり、跡地を広場として利用することの需要は低いという結果となっています。

【Q】中央公民館跡地の利便性の向上を視野に入れた利活用について伺います。

【A】昨年度から沼田まつりのメイソン会場として活用することで、地域の活性化に大いに資するものと認識しています。

本跡地は市の中心部に位置する貴重な公共空間であるため、利便性の向上を考慮し、引き続き地域の活性化に生かすことができるよう、検討を進めていきたいと考えています。

【Q】姉妹都市下田市との交流事業

「海中熟成プロジェクト」について伺います。

【A】こうした交流事業により、両市の関係性を深めるとともに、特産品の販路拡大など産業の活性化を推進していくと同時に、「海中熟成」による製品の開発状況や生産者の意向なども考慮し、活用方法を調査・研究していきたいと考えています。

【Q】ワクチン接種後の後遺症及び健康被害について伺います。

【A】実態調査は、実施していません。救済対策については、予防接種健康被害救済制度による申請に応じ、県を経由して厚生労働省へ進達し、認定された場合には、市から医療費等を給付することになっています。



地域コミュニティ、空き教室、沼女跡地

相澤 宗利



【Q】今後、地域コミュニティの広域化・連携強化をどのように推進していくのか伺います。

【A】本市におきましては、令和5年3月に策定した「沼田市地域コミュニティビジョン」に基づき、地域づくりを推進しています。本年5月16日には、池田地区振興協議会、薄根地区振興協議会、ふれあいカワダ会とパートナー協定をそれぞれ締結したところです。

今後につきましても、地域と協働し地域づくりを推進するとともに、地域コミュニティ組織の支援をしていきたいと考えています。

【Q】今後、小中学校の空き教室をどのように有効活用していくのか教育長に伺います。

【A】市民協働の推進に向けた空き教室の有効活用については、夜間や休日の使用も考えられるため、維持管理上の問題や防犯対策等への対応も必要となることから、今後、様々な観点で研究

していきたいと考えています。

【Q】沼田女子高等学校跡地の利活用について、また県から取得する意思があるのかを含めて伺います。

【A】沼田女子高等学校の敷地については、所有者である群馬県に対し、敷地取得の意思を表明しました。

取得に当たり、今後、県と協議を重ねていくこととなりますが、将来的には「学びや文化、交流の場」として、本市のまちづくりに活用していきたいと考えています。



行政調査

報告

沼田市議会では毎年、委員会とともに先進自治体等の行政調査や管内調査を実施しています。
今回は、経済建設常任委員会の調査の概要を掲載します。

経済建設常任委員会

景観を生かしたまちづくりについて調査研究を行っている経済建設常任委員会は7月9日、甘楽町の景観保護や歴史的風致維持向上計画の取組について、調査を行いました。

景観保護の取組について

甘楽町では、平成29年4月1日に「甘楽町景観条例」を施行し、景観に影響を与える一定規模以上の建物の建設や開発を「届出対象行為」と定め、「景観形成基準」に適合するように事業者などに要請が行われています。



地域の歴史と伝統を生かした建物、個人宅の生け垣、花壇などを表彰する

「甘楽町ふるさと景観表彰」では、庭園を開放している個人に建物や樹木の維持管理に係る助成を行い、景観条例にそった景観形成の取組を進めています。
甘楽町歴史的風致維持向上計画について

甘楽町の小幡地区には、武家屋敷や明治期の養蚕農家建物群の町並みが残り、その中を雄川堰が流れ、県内唯一の大名庭園「楽山園」が整備されるなど、歴史的風致が形成されていることから、平成22年3月に県内では初めてとなる「甘楽町歴史的風致維持向上計画」が国の認定を受けました。

重点地区として小幡城下町地区を定め、雄川堰の石積み改修、洗い場の整備、武家屋敷や足軽長屋等の保全・修理などを行ってききました。
町屋地区の伝統的な建物の保存・修理を行い、民間による交



流の場として活用されています。甘楽町では、こうした建物や楽

山園の整備・保存だけでなく、歴史・文化の啓発として、武者行列や楽山園での「かんら新能」などのイベントや歴史、文化財への理解を深める市民への講演会などが行われ、住民参加の取組も進められています。

沼田市の今後の取組に向けて

沼田市には、玉原のブナ林など豊かな自然景観や市街地を取り囲む田園風景、大正ロマンエリア、真田氏の歴史などがあり、こうした自然や田園の景観、歴史などを保存・活用しながら「訪れたくなるまちづくり」へとつなげ、観光や農業に生かす検討が必要と感じました。

次回定例会の日程

次回定例会は、8月27日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

今年の夏も暑い日が続きそうですね。早く涼しくなるとほしいものです。

さて、中山間地の沼田市では、あと一カ月もすれば実りの秋のはじまりです。りんごやぶどう、柿、蕎麦などの美味しい食べ物、さらには、品質の高いお米、そして何よりも増して素晴らしい大自然、モルゲンルートに映える山々峰々は荘厳です。全て沼田市ならではの宝物です。

令和6年第2回沼田市議会定例会が開催され、専決処分報告、令和6年度補正予算、条例改正など、重要な審議が行われました。また、一般質問では、市長に対して様々な切り口からの発言があり、市長からは前向きなご答弁を頂きました。

議会だより編集委員会では、今後も親しみやすく分かりやすい議会だよりを目指します。

編集委員 山宮 敏夫

議会だより編集委員会

委員長 星野 妙子
副委員長 小野塚正樹

副委員長 鈴木 齋藤
委員 誠 智

今成 山宮
敦子 敏夫

高柳 齋藤
勝巳 育子

相澤 大東
宗利 宣之

井上 弘